

STORY

1920年代、シルヴァリアは、財政難から、国内の油田の権利をアメリカの企業グループに委ねることになる。
 同国の王子シャンドル・ボリスは、息抜きにブダペストを訪れ、馴染みの店でジャズなどアメリカ音楽ばかりが演奏されているのに驚く。そこへ若いアメリカ人女性が現れ、王子とチャールストンを踊りたいと申し出る。副官を装っていた王子はやんわり拒絶するが、この女性こそ、例の企業グループの総帥、シカゴのロイド氏の娘メアリーだったのだ。
 そもそもメアリーの訪欧の目的は？また、古き良きヨーロッパを体現したような王子と、いかにもな“爆買い”メアリー、対照的なふたりは、この先一体どうなることやら…

CAST

日本を代表するオペレッタ・アーティストが勢ぞろい!

指揮・音楽監督 大浦 智弘	演出 今井 伸昭	シルヴァリア国王 (シャンドル・ボリス王子の父)		シャンドル・ボリス (シルヴァリア王子)		ローゼマリー (モレニアの王女)	

メアリー・ロイド		ボンディ (ロイド氏の秘書)		ペローリン侯爵 (シルヴァリアの國務大臣)		ボヤツォヴィッチ伯爵 (シルヴァリアの財務大臣)	

「グリル・アメリカヌ」支配人		ジプシーの楽士長		ベンジャミン・ロイド (メアリーの父、シカゴの大富豪)		メアリーの母		ネグレスコ伯爵

アスター	カーネギー	フォード	ロックフェラー	ヴァンダービルト	ダンサー	ダンサー

トランペット	コントラバス	ドラム	ヴァイオリン	ピアノ	エレクトーン	

STAFF

- プロデューサー: 佐藤 智恵
- 舞台監督・舞台美術: 磯田 ヒロシ
- 照明: 磯野 真也((有)アイズ)
- 編曲: 大野 恭史
- 音響: 五十嵐 優(Sound Scene)
- 振付: 宇田川 路代
- ステージング: ヨシ 矢野
- 訳詩・台本: 吉井 淳
- 広報デザイン: マーブルデザイン
- 表紙撮影・舞台撮影: 長澤 直子
- 配券管理: 合同会社アンデム
- 稽古ピアニスト: 富永 有里乃、樋口 めぐみ、山田 麻美子
- 制作: 株式会社ムジカ・チェレステ

SEATING CHART

※9列目から段差がある会場です。

舞台
仮設花道
1列 2列 3列 4列 5列 6列 7列 8列 9列 10列 11列 12列 13列 14列 15列 16列 17列 18列 19列 20列 21列 22列 23列 24列
L1列 L2列 R1列 R2列
L席 C1席 C2席 R席
S席 A席 自由席 未使用
車椅子席 2席
親子室 4席

※配役、チラシ情報は変更する可能性もございます。予めご了承ください。